研修プランＡ３

子供の姿を授業記録等から捉え直し資質・能力のイメージを共有する

■目　的　　学んでいる子供の姿を授業記録等から捉え直し、協議の視点に沿って分析すること

で、学校として育成したい資質・能力のイメージを共有し、その具現に向かう授業改善

につなげる授業研究会です。

■対　象　　校内

■時　間　　８０分

■形　態　　全体→グループ→全体→個人

 ※グループの分け方：５人前後で教科や学年が混在しているグループ構成

授業者や研究主任はグループに所属せず、グループ協議を支援

■準備物　　□本時の学習指導案

□授業記録（子供と授業者の発話を記録したもの、静止画・動画記録、板書等）

□学習成果物（子供が自己の学びを表現したワークシートや製作物等）

□模造紙（グループ数）

□フェルトペン（グループ数×４色程度）

□省察シート（教師の研修の記録用、人数分）

□タブレット端末　※授業の静止画・動画の撮影や再生用として、状況に応じて用意

□プロジェクタ　※模造紙の記録等を全体で共有するものとして、状況に応じて用意

●研修前

〇授業参観にあたって確認しておきたいこと

・授業を参観する視点について　※この視点を「協議の視点」として、学校の実態に沿って設定

（例１）学校として育成したい資質・能力を具現している姿とその要因について

（例２）主体的・対話的で深い学びに迫る姿とその要因について

（例３）教科の特質に応じた見方・考え方を働かせ、ねらいに迫る姿とその要因について

・単元・題材や本時の授業における子供の実態、ねらい、ねらいに迫る手立てについて

・協議時の進行や役割について（グループごとで見取る子供の学習班の割り振り）

　・授業記録のとり方について、上記を踏まえて、子供の学びの様相を捉える場面を検討

●研修

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 流れ | 進め方 | 留意点等 |
| １ 研修の説明【全体】（２分） | 〇会の目的、流れ、時間、形態、協議の視点をおさえて、見通しを持つ。 | 〇目的は上記「■目的」参照〇流れは左欄「流れ」参照〇協議の視点を中心に進めることを確認する。 |
| ２ 授業の振り返り【全体】（３分） | 〇授業者より、授業を振り返って、協議の視点に関わる部分を中心に話す。 | 〇ねらいや願う子供の姿に近づくことができたか、という観点を踏まえる。 |
| ３ 質疑応答【全体】（５分） | 〇授業を振り返り、協議に向けて必要と思われる点について、質疑応答を進める。 | 〇協議につながる質疑応答になるように、司会は進行に務める。 |
| ４ 協議【グループ】（30分） | 〇協議の視点に沿って、担当した学習班の子供の姿を出し合い、模造紙に書き出していく。〇出し合った中で、特に話題にしたい子供の姿を絞り、協議の視点に沿って進める。〇授業者や研究主任らは、グループ間を回って、協議を支援する。 | 〇グループの分け方は上記「■形態」参照〇見えにくい発話や思考過程等を、授業記録や学習成果物と照合して分析する。（例１）Ａさんの学びが、教科の特質に応じた見方・考え方を働かせて深まったその場面や要因とは何か。（例２）Ｂさんがねらいに迫るための適切な支援とは何か。〇協議の中での疑問等に、その場で素早く応対していく。 |
| ５ 共有【全体】（15分） | 〇グループの代表者が、グループ協議について協議の視点に沿って発表し、共有化を図る。 | ○次の点を踏まえて発表をすすめる。・子供の具体的な姿で・ねらいに迫った要因等の分析について〇模造紙を撮影した画像をプロジェクタに投影する。もしくは、模造紙をそのまま活用する。〇研究主任は、協議の視点に沿って、発表を整理する。 |
| ６ 方向性の明確化【全体】（15分） | 〇グループ発表の内容を、成果と課題に整理し、今後の方向性を協議する。〇今後の方向性を明確にし、次回の校内研修会への見通しを持つ。 | 〇グループ発表の内容を、プロジェクタや黒板などで見えるようにし、協議に役立てる。 |
| ７ 省察【個人】（10分） | 〇今後の方向性を踏まえて、取り組むべきことを記述する。 | 〇次の点を踏まえて記述する。　・個人として課題に感じていること・個人として取り組むべきこと |

●研修後

個人での省察を踏まえて、教科や学年ごとで目指す子供の姿を見直し、授業改善の具体的な在り方について話し合う。